藍LVE新聞

発行日
2025年11月20日

発行者
幕別町立糠内小学校
編集 高島嗣宏 佐藤真菊 田村真琴 和田理
印刷 佐藤天音 寺林承助 杉本香里奈

糠内小学校ではグリーンタイムの活動をしています。①作物を育て、収穫した作物を調理し収穫祭を行う。②3年に1回、育てた藍を使って全校で藍染体験。③今までグリーンタイムで行った活動をスライドにまとめて中学生に発表。このような活動をグリーンタイムでしています。今年は3年に1度の藍染めの年なので藍の理解を深めて藍の魅力を伝えるために、藍・歴史・染め方・体験談に分かれて新聞にまとめました。（香・真莉）

ジャパンブルーの正体

街中で見かける鮮やかな藍染めののれんやサムライ日本代表のユニホームカラー「ジャパン・ブルー」。これほど身近なのに、「藍って一体何？」という人が多いのではないでしょうか。意外にも藍染めの染料として古くから日本で使われてきたタデアイは身近に生えている一年草だということ、その色素だけでなく、薬草としても利用されてきた多用途な植物だとわかりました。（真琴）

植物図鑑

和名 タデアイ（蓼藍）

原産地 東南アジア（中国、ベトナム周辺）

分類 形態 花 タデ科イヌタデ属の一年草。草丈は60cm〜1mほど。枝先に米粒のような小さな花（ピンク）

主な用途
① 抗菌パワー
病気や傷のもとになる菌が増えるのを防ぐ。
② 防虫効果
藍の成分が虫を遠ざけるため、服を長くきれいに保つことができる。
③ 清潔＆快適
汗やニオイを抑える力があるので何度も洗濯できない時代でも、清潔で気持ちよく使うことができた。参照 OZAKI FLOWER PARK HP

天然染料 Shokai

ウコン
ショウガ科の多年草
原産地 熱帯アジア・沖縄県
黄色に染められるよ

西洋茜
アカネ科の多年草
原産地 ヨーロッパ
赤色に染められるよ

クチナシ
アカネ科の常緑低木
原産地 日本・中国
黄色に染められるよ

染色の原理

とうめいで水に溶ける!!
インジガン
葉っぱの中にあるよ！（ココ）

変身 酸素反応
空気中の酸素と出会う！

たたき染めの場合
石けんと水で洗うと緑色だけ落ちる。
参照 藍染結の社のHP

（承・真琴）

インジゴ
「私は青色で、水に溶けないよ！」

藍建立 AI DATE

濃い「ジャパンブルー」を染める伝統的な染め方

材料
- すくも（乾燥藍葉）
- 灰汁（あく）
- 石灰、ふすま
- 染める布

作り方
① 染め液の仕込み
なべに「すくも」と灰汁と石灰、ふすまを入れ発酵させる。
② 浸す
布を染め液にひたす。
③ 空気にさらす
布を広げて、空気にさらす。
④ くりかえす
②と③をくりかえす。
ポイント 濃い色にするときは、何度もこの工程をくりかえす

生葉染め NAMABAZOME

主に夏に採れたてフレッシュな藍の葉で作る、手軽な染め方

材料
- 新鮮な藍の葉（摘んだばかりの葉がオススメ）
- 染める布（シルクやウール）

ポイント 動物性の繊維がよく染まるよ

作り方
① 葉をちぎる
藍の葉を茎からはずす。
② 染め液を作る
ミキサーに葉と水を入れ泡立つまでしっかり砕いてジュースにする。
③ 染める
布を汁にひたし、ムラなくもみこみながらひたす。
④ 水洗い
布を取り出してよく洗い乾かすと青色に発色する。

藍染道

みなさん藍染の染め方を知っていますか。糠内小学校では今までに、絞り染めと叩き染めをしたので、ほかの染め方についても調べてみることにしました。生葉染めと藍建ての染色方法は、どちらも同じ藍の葉から色素を取り出しますが、原理と手順が大きく異なり、まるで科学実験のような染色の工程です。（嗣実）

模様講座

この状態で染める

むらくも染め → 波模様

板締め絞り → 格子模様

大人ぽくておしゃれ

派手でカッコイイ

藍染は、模様で印象はがラリと変わります。「絞り染め」や「型染め」といった伝統の技によって生み出される、藍色の個性豊かな模様のバリエーションをご紹介します。

藍染王決定戦

クイズ1
染料になる植物はどれでしょう。
① タンポポ
② チューリップ
③ ユリ

クイズ2
藍のもつ効果はどれでしょう。
① 頭の回転がはやくなる
② 解熱
③ 消毒液

クイズ3
藍はどこを通ってきたでしょう。
① アップロード
② ホワイトロード
③ シルクロード

クイズ4
藍染の有名な県はどこでしょう。
① 徳島県
② 愛知県
③ 熊本県

みんなわかるかな〜

正解はココ！

クイズ1	正解はタンポポです。タンポポは黄色の染料として使われる。チューリップやユリは水分が多く劣化や変色しやすいため染料として適さない。
クイズ2	正解は解熱です。江戸時代には、解毒や傷薬、熱冷ましなどの民間薬として広く使われていた。
クイズ3	正解はシルクロードです。紀元前300年ごろになるとシルクロードを通じ文明の交流が始まり藍染の布製品が盛んに行き来し、世界各地に藍が流通した。
クイズ4	正解は徳島県です。徳島県の藍栽培は昔から行われており、現在まで伝統産業として受け継がれている。（承・真琴）

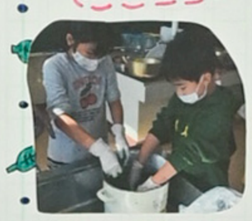
藍染の体験レポート

アンケート レポート 藍について

「ジャパンブルー」と呼ばれる美しい藍色。グリーンタイムで伝統の藍染めに挑戦しました。真っ白な布が、自分の手で魔法のように青く染まる瞬間は、本当に感動的でした。右は「絞り染め」、左は「たき染め」体験。2025年の体験は「絞り染め体験2022」の記録です。（香・真莉）

2022 しぼり染め

① 染料を作る。乾燥させた藍をにる。
くさすぎる〜。水が藍色になってきた。おもしろい〜！



服についちゃ〜う

② 染める。しっかりと染め液に浸す。
ひ、ひ、ひ〜。いい色になってきたぞ。

青くなってきた！

③ 空気にさらして青く発色させる。
ワンポイントアドバイス 色をこくしたい場合は、②と③をくりかえすんだよ〜！

うんていにかわかしたよ〜！

④ 完成
みんなちがってみんないい！

2025 たたき染め

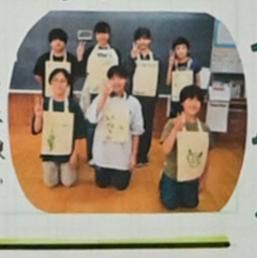
① 5・6年生で育てた藍からお気に入りの葉を見つける。
どれにするかなやむなぁ…。

これに決めた!!

② テープで葉を固定してかなづちでたたく。

このくらい？
テープは葉っぱより大きめにね！
楽しい〜！でもうでが痛い…。
かわいくできたよ♡

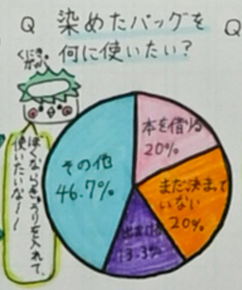
③ 完成



この体験で藍染の楽しさや面白さがわかりました。自分だけのデザインができたり他の学年の人とも交流できて楽しかったです。

糠小子に聞いてみた

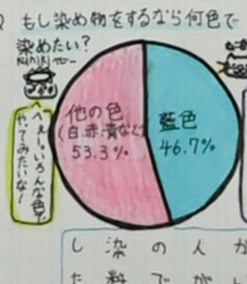
Q 染めたバッグを何に使いたい？



ぼくらの絵入りを入れて使いたいな〜！

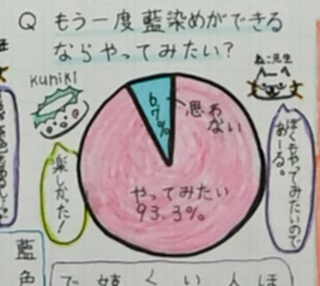
デザインを見ると動物の模様をつくる人もいて面白かったです。

Q もし染め物をするなら何色で染めたい？



へぇ〜いろんな色やってみたいな！
藍色以外の色がいいという人が多かったので次は天然染料にも挑戦したいです。

Q もう一度藍染めができるならやってみたい？



楽しかった！
ぼくもやってみたいのでがんばる。
ほとんどの人がやりたいと思ってくれたので、嬉しかったです。

藍染の歴史を知るタイムトラベル

藍の歴史を知るタイムトラベルに皆さんをご招待します。紀元前3000ごろから行われていること、北海道の先住民アイヌの人達ともつながりがあることがわかりました。アイヌと藍の関係、そして世界の歴史についてまとめました。アイヌの人にとって藍染めの布はただの飾りではなく実用的な意味合いと文化的な意味合いがあることがわかりました。

時代	内容
現代	参照 世界の藍 文化学園服飾博物館
明治時代以降	安く便利な化学染料が発明され天然藍は少しずつ消えていった。
江戸時代	阿波藍とは？ 徳島でつくられた藍染めの原料のすくものこと。外国から来た人が日本の藍色に感動。ジャパンブルーと名前がついた。
大航海時代	藍染めが大ブームに。徳島の阿波藍が有名。
12世紀	ヨーロッパでインド藍は高級品として取引。ポルトガル、イギリスが藍を輸入。
鎌倉時代	勝色とは？ 白に入れ打つ叩くことをかついい勝つことに結びがると考えたことが由来。
平安時代	冠位十二階 徳 仁 礼 信 義 智 信
6世紀	武士に藍色は勝ちに通じるとして大人気!!
紀元前300年頃	日本に到着 奈良時代に中国から伝わる。とても貴重。高貴な色になった。特別な色になった。
紀元前3000年頃	シルクロードを通じアジアやヨーロッパに広まった。
古代	人類最古の染料のつ
日本	藍メイクです。

アイヌ衣装と藍色のヒミツ

みんなわかったかな？

① 補強の役目
ほつれやすい首や手首足元に藍色の布を縫い付けて丈夫にしたよ。

② 魔除け
藍色には悪いものが入ってくるのを防ぐ力があると信じ、悪い気が入る開口部にぬい付けてお守にしたよ。

③ 装飾
藍色の布に独自の美しい刺繍を施し、衣服を飾りました。これが有名なアイヌ文様です。

④ まとめ
藍の良さを最大限活かして今の衣服になったのじゃぞ！

藍色が古代から世界で愛され、日本では高貴な色から庶民の色へと姿を変えながら受け継がれてきました。（天・理）

インディゴロードの編集後記

藍染の新聞づくりを通してアイヌの人々はいろいろな工夫をして藍を使っていたことを知り改めてアイヌの人はすごいなと思ったと同時にとても勉強になりました。（天音）

新聞をつくるのはあまり得意な方ではなかったけれど、藍のクイズ作りを通して藍について詳しく知ることができ、新聞を楽しくつくることができました。（寺林）

今年の新聞づくりでは、アンケートをとってグラフを作って今までの活動をまとめることができました。詳しく藍を知ってうえでもう一度藍染体験をしたいと思いました。（杉本）

今回の新聞を作るにあたり藍染道は昔別偏だけだったので先生の力も借りて頑張って作りました。「藍染道」という見出しを通して自分の自信と藍染めの魅力を表しました。（真実）

私は今回の新聞づくりで写真やグラフなどを使い工夫しながらまとめることができました。藍についても詳しく知ることができて、いい勉強になりました。（真琴）

私は見出しや記事の構成など先生や友達と協力して頑張りました。藍について詳しく調べることも勉強になりました。（真琴）

藍染の歴史について調べて、紀元前3000年ごろから藍染があったことや、戦国時代の武士たちが使った勝色という色があることに驚きました。とても勉強になりました。（穂）

最後まで読んでいただきありがとうございました。

1行13字 57行×7段